2015年11月16日 ご参考資料

楽読（ラクヨミ） Vol. 1,035

Raku Yomi 楽読（ラクヨミ）

モノとモノがつながり、世界が変わる

nikko am fund academy

米国の軍事技術として世に生まれたインターネット、今では欠かすことのできないツールの一つです。ネットワークに接続すれば、ふとした疑問を直ぐに調べたい時に、検索ページにキーワードを打ち込むと、関連情報が瞬時に集まってきます。また、インターネットが浸透したことにより、個人や企業、政府機関などでSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用が進みました。インターネットは、情報の地域格差を縮小させ、コミュニケーションを活性化する原動力になったと言えます。

データ収集や情報発信、情報交換を行なうツールとしてインターネットが広く利用され、ビッグデータと呼ばれる膨大なデータの蓄積が進んでいます。こうした膨大なデータの使用や大規模なプログラムの利用については、手元のハードディスクで行なう方法から、ネットワークを通じてソフトウェアやデータなどが利用できるクラウドコンピューティングに変わりつつあり、新たなビジネスが拡がろうとしています。

ところで、最近、新聞やテレビなどで『IoT』（アイ・オー・ティー）という言葉を見かけることが増えているように思います。IoTとは、**I**nternet **o**f **T**hingsの頭文字をとったもので、“（私たち人間も含むすべての）モノのインターネット化”、などと訳され、一言でいうと、モノとモノとのネットワーク化です。IoTを有効に活用するためには、多くの情報を集め、瞬時に分析する環境が必要です。この点では、通信環境の高度化に加え、モノに搭載するセンサやデバイス（端末）の価格が低下し、データを蓄積するインフラや高速分析する技術も進むなど、環境は整いつつあります。必要な道具（パーツやシステムなど）を上手にマッチングできれば、ビジネスチャンスは無限大です。

IoTがもたらす産業へのインパクトは計り知れず、今後、互いに通信し合いながら蓄積した情報を分析し、その結果を基にコンピュータが自ら行動し、新たな提案までするようなビジネスが増えてくると思います。身近なところでは、オンラインショッピングサイトで、コンピュータがユーザーの閲覧履歴や購買履歴から推測したお勧め商品のバナー広告を掲載する例があります。また、映画の1シーンで見た自動車の自動運転も実証試験が行なわれており、数年内に街の中で走る姿を見かけることになるかもしれません。

知っていれば役に立つキーワード

キーワード	概要
SNS	個人や組織がネットワークを介して情報のやり取りができるしくみ
M2M	機器間でネットワークを介して通信し、情報収集やつながる機器を動かしたりするシステム
O2O	オンライン上の見込み客に対して、特典を提供するなどして実店舗に誘導するマーケティング手法
テレマティクス	自動車などに通信システムを組み合わせ、情報の収集や情報サービスの提供を行なうこと
ウェアラブル端末	体に直接装着するコンピュータ
ドローン	人が搭乗しない小型航空機
AI	人間が脳で行なっている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム
機械学習	AIにおいて、与えられた情報から機械自らが学習しその傾向を分析するしくみ
インダストリー4.0	工場や企業などのデータをリアルタイムでつなぎ、効率的で自律的な生産体制の構築を目指すこと

（総務省などの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成）

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

facebook twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。